LIVE Whiteboard 取扱説明書

この度は「LIVE Whiteboard」をお買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。お読みになった後も、大切に保管してください。
なお、LIVE Whiteboard を本機と記載します。

安全のために必ずお守りください

⚠警告

- 廃棄する時は専門業者におまかせください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

⚠注意

- 説明書にもとづいて、組立・設置をしてください。誤った組立・設置をすると、破損やけがをすることがあります。
- 本機を 12 度以上傾けないでください。転倒して破損やけがをすることがあります。
- 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがをすることがあります。
- 本機にぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。倒れて破損やけがをすることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところに設置しないでください。倒れたり、落下してけがをすることがあります。
- 使用中は必ずキャスターのロックをかけてください。移動時は必ずカメラアームを閉じ、キャスターのロックを解除してください。破損やけがをすることがあります。
- 子供に操作させないでください。事故になりけがをすることがあります。
- 火のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- 各部のネジがゆるんだまま使用せず、増し締めしてください。破損や倒れてけがをすることがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、購入店にご相談ください。破損や本体が倒れてけがをすることがあり
- 用途以外に台車等として使用しないでください。事故やけがをすることがあります。
- 完全に組み上がっていない状態で使用しないでください。破損や倒れてけがをすることがあります。

ご使用上の注意

1. 直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色、変形することがあります。
2. 埃や湿度の多いところには置かないでください。変色・変形・腐食することがあります。
3. 水や飲料等をこぼした場合は、速やかに拭き取ってください。変色・変形することがあります。
4. 屋外や水のかかるところでは使用しないでください。サビや破損を引き起こす原因となります。
5. ホワイトボード板面を、シンナー・ベンジン・石油・酸・みがき粉・タワシ・熱湯等で清掃すると変色や傷など、ホワイトボード板面を傷めますので避けてください。
6. ホワイトボード板面は、画鋲・釘・ボールペン等、金物で傷をつけますと修正不能となりますので、使用しないでください。
7. ホワイトボード板面にテープ・接着剤等の使用は避けてください。
8. ホワイトボード板面・縁材やカメラに固いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。破損することがあります。
9. 本機は水平を保つように設置してください。ガタツキのある状態で使用していると本機が変形し、破損やけがをすることがあります。
10. 移動の際は、必ずカメラアームを閉じ机や壁などの固いものにぶつけないようにしてください。机や壁面などが破損、変形することがあります。
11. 乱暴な取扱や用途以外の使用はしないでください。故障や破損・事故の原因となります。
12. 記入及び消去の際は専用マーカー及び専用イレーザーをご使用ください。
13. ホワイトボードを初めて使う際、マーカーによっては筆記時はじきが生じる可能性があります。数回書き消しを繰り返していただくことにより、はじきを無くすことができます。
14. 記入した文字等は長時間放置しないでください。消えにくくなることがあります。
15. 油性マーカー・ペイントマーカー等で書きますと、消せなくなりますので、絶対に使用しないでください。
16. ペントレイにはマーカーやイレーザー以外の物は置かないでください。落下して破損やけがをすることがあります。
17. ホワイトボード板面をプロジェクターのスクリーンとしては使用しないでください。
18. カメラ部及びアームに強い力を加えないでください。破損したり、カメラの位置がずれると正しい撮影と画像補正ができなくなります。
19. アームベースカバーは磁石でカメラのアームベースにに貼り付けています。キャッシュカード、定期券等の磁性記録媒体を近づけないでください。約 10cm 以内に近づけると記録データを破損する恐れがあります。
20. 本機を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明してください。

お手入れ方法

1. ホワイトボード板面の汚れは、固く絞った濡れた布または別売品のホワイトボードクリーナーで拭いてください。ホワイトボード板面が汚れていると、マーカーが消えにくくなります。
   汚れが著しい場合は、きれいな布にエタノール（無水アルコールや消毒用アルコールなど）をしみこませて拭き取ってください。
2. マーカーの粉などが著しく付着した汚れたイレーザーを使用するとホワイトボード板面を汚し、マーカー跡が消えにくくなります。イレーザーが汚れてきたら、速やかに交換してください。
   付属イレーザー ER-423542 のスポンジ部は、ケースから外して裏返してケースに入れなおして使用することができます。
3. カメラのレンズをふき取る場合は市販のレンズ用クリーニングクロス（布）を使用してください。その際、レンズを傷つけないように十分注意してください。

別売品			
	推奨マーカー	：BMK-PE10BK ブラック	[注文コード 428728]
		BMK-PE10RD レッド	[注文コード 428729]
	推奨イレーザー：ER-423542		[注文コード 423542]
	ER-423542 替えスポンジ：PV-RS-S		[注文コード 423621]
	ホワイトボードクリーナー：		[注文コード 423-418]

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

組立方法（必ず二人以上で作業してください。）

- 組立及び設置は、必ず組立説明書（本紙）に基づいて行ってください。誤った組立はけがの原因となります。
- 組立前に、組立部材・組立部品をご確認ください。
- 組立作業には、プラスドライバーが必要です。サイズ No.2 のプラスドライバーをご用意ください。

■組立部材・部品一覧

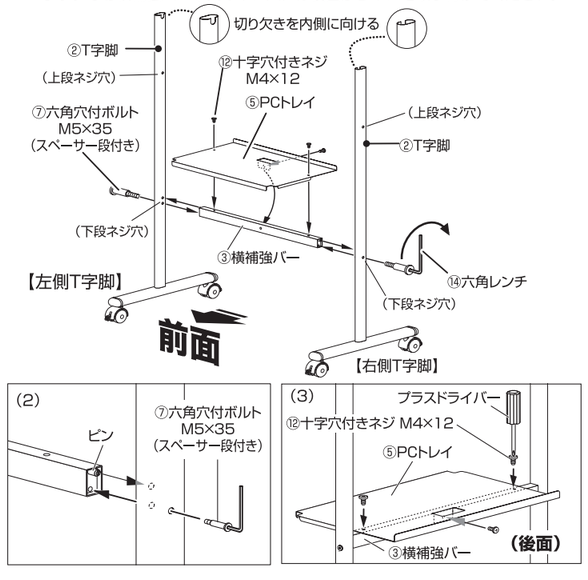
※付属品の USB メモリは予告なく変更することがありますがご使用上は支障ありません。

■組立部材・部品一覧

⚠注意 組立の際は、カメラアームを閉じキャスターのストッパーをロックして、必ず 2 人で作業をしてください。事故の原因になります。

1. 脚部の組み立て

（1）②T 字脚の上端の切り欠きを各々内側に向けてください。
（2）③横補強バー 2 箇所のネジ穴を上に向けてください。
　次に、③横補強バーの両端のピンを T 字脚下段内側のピン穴（上側）に差し込みます。
　②T 字脚の下段下側のネジ穴に⑦六角穴付きボルト M5×35（スペーサー段付き）で⑭六角レンチを使って外側から仮締めしてください。
（3）⑤PC トレイを③横補強バーに⑫十字穴付きネジ 3 本を使ってしっかり締付けます。なお横補強バー中央のネジ穴には後面からネジを取り付けてください。

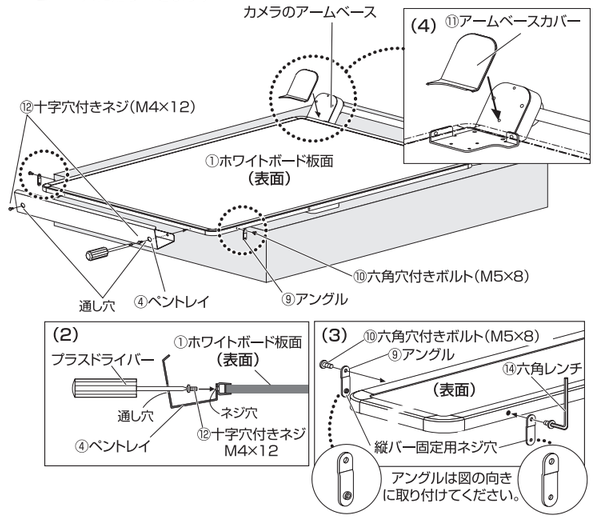


2. ペントレイ、アングル、アームベースカバーの取り付け

（1）台の上に①ホワイトボード板面を表にしておいてください。

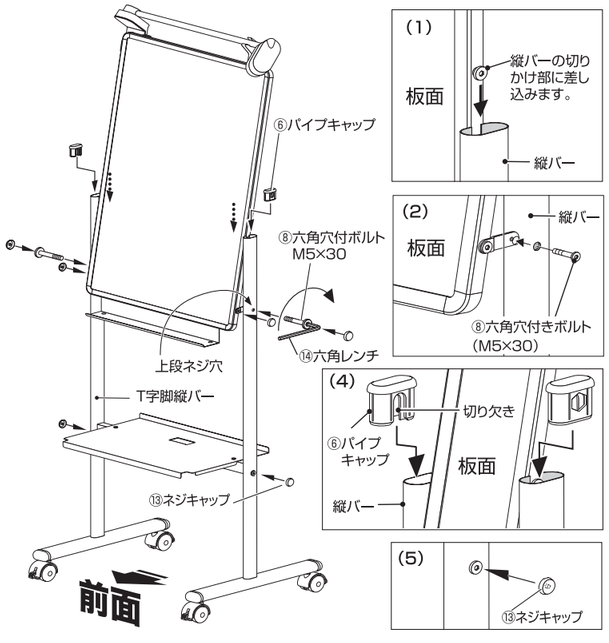
⚠注意 カメラ部が破損する恐れがありますので裏面にして置かないでください。

（2）⑫十字穴付きネジを使って④ペントレイを①ホワイトボード板面に取り付けます。このとき、ドライバーはペントレイ底面の穴を通します。
（3）①ホワイトボード板面の下段ネジ穴に⑨アングルを図の向きにして⑩六角穴付きボルト（M5×8）で仮止めします。取り付けには⑭六角レンチを使います。
（4）カメラのアームベースに⑪アームベースカバーを貼り付けます。磁石の力でアームベースに貼り付きます。



3. 板面の取り付け

（1）図のように①ホワイトボード板面の六角穴付きボルトの頭を、T 字脚縦バーの切り欠きに部に差し込んでください。
（2）縦バーの上段ネジ穴に、⑧六角穴付ボルト（M5×30）を差し込み、⑨アングルの縦バー固定用ネジ穴に通してからホワイトボード板面に仮止めしてください。
（3）T 字脚のゆがみを正して、合計 6 箇所のボルトを⑭六角レンチ使って本締めしてください。
（4）T 字脚縦バーに⑥パイプキャップを切り欠きのある面を板面側に合わせて差し込んでください。
（5）各々の六角穴付きボルトに⑬ネジキャップをボルト 6 箇所にはめ込んでください。



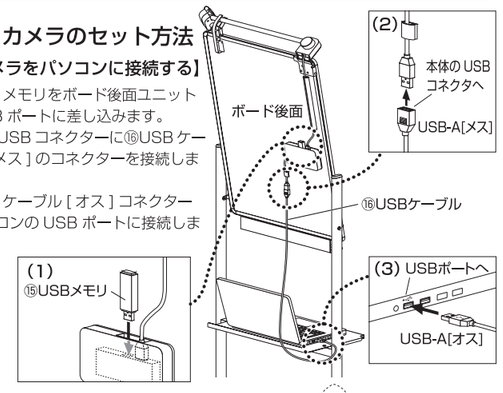
以上ですべての作業は終了です。
各ネジがしっかり締め付けられているか、ホワイトボード板面が脚に確実に取り付けられているか再度確認してください。

ご使用方法

■ Web カメラのセット方法

【Web カメラをパソコンに接続する】

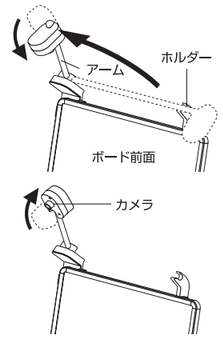
（1）⑮USB メモリをボード後面ユニットの USB ポートに差し込みます。
（2）本体の USB コネクターに⑯USB ケーブル [メス] のコネクターを接続します。
（3）⑯USB ケーブル [オス] コネクターをパソコンの USB ポートに接続します。



【使用時】
アームを持ってホルダーからカメラを引いて外し、そのまま止まるまで開きます。

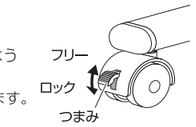
- カメラがホワイトボード板面に完全に止まるまで向いていることを確認してください。
- 板面に光が映り込まない様に照明の位置や使用する場所を調整してください。
- 会議室風景（出席者）などの撮影は、カメラ本体を止まるまで右図の様に起こして、アプリケーションのビューモードを切り替えてください。

※収納するときはカメラの向きを板面側に向けてから、アームをホルダーに入れてください。
※アプリケーションのご使用方法は LIVE Whiteboard クイックガイドをご覧ください。



キャスターロック機構の使用方法

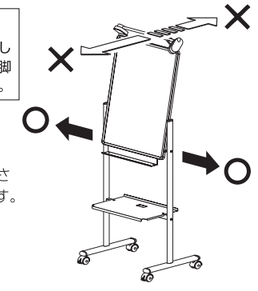
全てのキャスターには車輪のロック機構がついています。
つまみをフリーの方向（上側）に倒すと車輪が回転するようになり、本機を移動することができます。
逆につまみをロック方向（下側）に倒すと車輪は固定されます。
※つまみの操作は必ず手で行ってください。



⚠注意
ご使用の際は、キャスターのストッパーをロックしてください。ロックをしていないとご使用の際、脚が不安定になり、けがにつながる恐れがあります。

本体の移動方法

移動時は必ずカメラアームを閉じキャスターのロックをフリーにしてから。矢印の方向に移動させてください。破損やけがをすることがあります。



製品の保証について

お使いの製品が取扱説明書、本体記載の注意ラベル等による正常なご使用状態のもとで不具合が発生した場合、下記保証期間をご参照の上、購入店または下記記載のビジョンカスタマーセンターへご連絡ください。

1．保証項目・期間

保証期間は、社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）のガイドラインに準拠して、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

対象部位	不具合内容	保証期間
外観･表面仕上げ	塗装及び樹脂部分の変･退色、レザー･クロスの摩耗	1年
機械部･可動部	引出し･スライド機械･扉の開閉･昇降機構の故障	2年
構造体	強度･構造体による破損	3年

※保証項目は、本製品を日本国内で購入され、かつご使用される場合にのみ有効です。
※この期間は、通常の状態で使用された場合を想定して定めたものですので、24 時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所での保証期間ではありません。
●保証期間経過後の修理については有償とさせていただきます。
●電気系につきましては保証期間を 1 年とさせていただきます。

2．保証対象外

保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
・火災、天災による故障または破損。
・改造や不当な修理または使用者の責任に帰すると認められる故障または損傷。

製品の仕様に関するお問い合わせ先

本製品に関するお問い合わせは、製品の品番・製造番号をご確認の上、ご購入店または下記のビジョンカスタマーセンターにお寄せください。

ビジョンカスタマーセンター／TEL **0120-944-086**

JOIFA 331
プラス株式会社
45-4601-21C